事務局便り

第８８号（令和２年１２月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

米大統領選バイデン氏が当選？　今後の米中関係の推移（中共の出方と米の対応）が気になる所です。

何にしても我が国は憲法改正を含む「自主防衛努力１００倍化」が喫緊の課題でしょう。

１０月、１１月の２大慰霊行事を実施しましたが、武漢ウィールス禍のため簡素化して実施せざるを得ず、誠に残念で心苦しい事でした。

それでもご英霊に対する感謝と慰霊の念は、例年以上に思い入れの深いものがありました。

さて、年齢と共に時の経つのが速く、今年も早や師走を迎え、会員各位におかれましては、そろそろ新春を迎える準備を始められる頃かと拝察いたします。

武漢ウィールス禍もありますが、来る令和３年も良き年になりますようご祈念申し上げます。

（加賀本）

案内事項

令和３年１月理事会案内

令和２年度第３回理事会は、１月２８日（木）１６：００～１７：００で開催を予定しております。理事の方には、別途ご案内致します。

万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

また、その後１８：００からは歴史研究会を実施します。

なお、出欠のご連絡は、１月２２日（金）までにご連絡ください。　担当　熊谷

Tel.：078-952-3063　携帯：090-3844-3296

Mail：dfquk007@kcc.zaq.ne.jp

１２月度・令和３年１月度歴史研究会

１２月度・令和３年１月度は、以下で予定しますが、武漢ウィールス禍の状況により中止等変更する場合があります。

会員以外の何方でも参加できます。

また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。

場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)大阪駅前第１ビル 11 階南側です。

多くの方のご参加をお待ちしております。参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、４日前までに加賀本までご連絡ください。

必要費用は、軽食会食費代で３０００円程度です。

担当　加賀本

℡：072-785-8954　携帯 090-1241-8877

Mail：akio@room.ocn.ne.jp

【なお、両月度とも、メール通信者には後日、資料を送付します。それ以外の方で欲しい方は、メールアドレスをお知らせ下されば送付します。】

令和２年１２月度

日時：１２月１７日(木)　１８～２０時

内容：内容：『米中最終決戦』です。

田川顧問に担当して頂きます。

著者は藤井厳喜氏です。

本格的な米中の最終決戦が始まった。武漢から発生した武漢ウィールスのパンデミックによって、米中冷戦は、熱戦に変わりつつある。

戦線は、ファーウェイに代表される 5G 時代の通信覇権であり、香港の一国両制、台湾の民主的体制、尖閣をふくむ海洋覇権、さらにはウイグル、チベットの自治など広範囲に及ぶ。

そのすべての局面でいま中国は一大攻勢に出ようとしている。直接、兵器を用いた戦争こそしていないが、それ以外のあらゆる分野で、米中は目に見えない戦争を戦っている。

ところが、日本の指導的立場にある人たちの間に「米中対決時代の現実を受け入れたくない症候群」

が蔓延している。米中両国に二股をかけて、ビジネスを拡げてしまったため、現実を否認する病に陥ってしまっているのだ。
悪いのは中国でもアメリカでもなく、トランプ個人だという誤解も日本には蔓延している。
しかし、これはトランプ大統領の問題などではない。
米中対決という基軸を見失えば、ポスト・コロナの世界に現れてくる様々な問題を理解できなくなる。
100 年に一度のパンデミックによって劇的に変化しつつある世界の政治と経済が詳細に分析されています。
いま続く熾烈な「戦国」の世界で、日本は生き残れ
るのか？大いにディスカッションしましょう。
事後、軽食懇親会をします。

令和３年１月度

日時：１月２８(木)　１８～２０時
「WHAT NEXT―次に何が起きるか？コロナ以降全予測」です。
田川顧問に担当して頂きます。
著者は宮崎正弘氏です。
極めてタイムリーな著作である。
予測は、２０２２年迄は、数次感染が続く。
それは、世界大恐慌の引き金と成り得ると云う恐ろしい未来予測でもある。
但し、現時点では失業・株価暴落・収益悪化等比較的予想可能範囲となっている。
なので、生き延びる知恵も当然出て来る。
それは、コロナ以後の新しい生活様式である。
他方、中国はコロナによって食糧事情がかなり悪化し加えて、歴代王朝滅亡原因の一つとなった蝗害が間近に迫っている。
今後、習主席は「習隠蔽主席」として糾弾される運命となるだろう。
その際、中国の軍隊は容易に匪賊化する。
また、北朝鮮の現体制は一蓮托生となるだろう。
北は、単なる従属変数に過ぎない。
日本は、難民対策が必要となる。
つまり、コロナにより国際金融資本が画策したグローバリズムは当然の如く頓挫したのである。
具体的には、中国のサプライチェーンは解体の途を歩み、中国の発展も終わったのである。
それは、アメリカではなく国際金融資本が企てたものであった。アメリカ民主党はその配下である。
そして、マスメディアも同様である。
共和党トランプ大統領の誕生により、世界は彼らの思うがままに動かなくなった。
ナショナリズムとグローバリズムは相互牽制が働らかないと世界も巧く行かないと云う教訓でもあった。
はたして何か劇的に変わるか？ そして何が変わらないのか？ 日本はどのような大転換を迫られるのか？ 「米中の失業率２５％」「地域戦争の勃発」など最悪のシナリオも含めて、コロナ以後の世界を予測する。大いにディスカッションしましょう！

令和２年度会費納入のお願い

令和２年度会費納入の最後のお願いをします。
本会の「振込取扱票」が同封されている方は、会費未納の方です。
苦しい財政状況です。窮状をご理解の上、納入頂けます様、宜しくお願い致します。
不明な点は、下記までご連絡下さい。
会計理事：加賀本　昭雄
℡：072-785-8954　携帯：090-1241-8877
Mail：akio@room.ocn.ne.jp.
なお、令和３年１月３１日までにお振込の無い場合は、退会の御意志と判断させて頂き、永年に亘りご支援ご協力頂いた方に対し誠に心苦しく、申し訳ありませんが、事後の連絡を中止させて頂きます。
担当　加賀本

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持てない国民、その国は亡びると言います。

令和元年度末で、会員数は１４０を割りました。

「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。

解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。

◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！

◎自衛隊ＯＢ会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！

◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！

ご協力を衷心よりお願い致します。

情報を頂ければ、事務局で対応いたします。

担当　加賀本

報告事項

第１２回特攻勇士慰霊祭

１０月２５日（日）第１２回特攻勇士慰霊祭を大阪護国神社に於いて絶好の秋晴れの下厳かに執り行いました。

しかしながら武漢ウィールス禍のため、衆議院議員大西宏幸氏代理（秘書：服部篤輔氏）の他、関係団体・理事・近畿偕行会会員有志２５名に限定し、武漢ウィールス禍のため神事のみの実施となりました。

本来なら自衛隊音楽隊の慰霊演奏も含めご英霊を十分にお慰め出来たのにと残念でなりませんが、ご英霊に対する感謝と慰霊の念は、ご参加できなかった方々の思い入れも含めて例年以上に深いものがあります。

万感の思いを込めて在天のご英霊に一日も早い武漢ウィールス悪疫撲滅をお願いさせて頂きました。

折から七五三参りの家族連れもあり、関心を示して呉れる等有意義な行事になったと思料します。

会場の準備・撤収作業に於いては大阪護国神社の皆様、受付業務に於いては「あさなぎ」の皆様に多大のご支援を頂き感謝申し上げます。

また、ご参加できなかった方々からも志納金を賜り心より御礼申し上げます。

盛装なった特攻勇士慰霊像

担当　加賀本

令和２度パール判事顕彰献花祭

１１月２８日（土）令和元年度パール判事顕彰献花祭を京都霊山護国神社に於いて実施しました。

在大阪・神戸インド総領事代理サンジーヴァ・ジャイナ領事を招待し、京都白鴎会遺族会山田会長ご夫妻、関西防衛を支える会・京都偕行会・近畿偕行会各会長及び各会会員有志等の方々に限定し、総勢約１６名の参加者となりました。

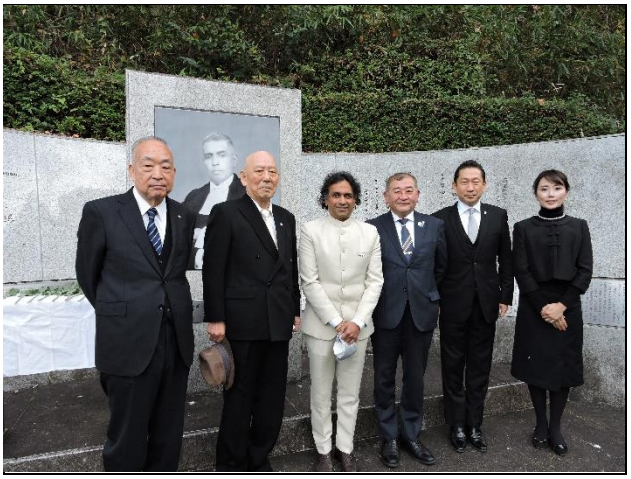
折から時雨もある肌寒い日となりましたが、１１：００から本殿に於いて日印合同戦没英霊慰霊祭を挙行しました。

事後、特攻勇士慰霊像参拝、１１：３０から顕彰碑前でパール判事に感謝を捧げると共に我が祖国日本の弥栄を祈念し、参加者全員による献花を実施しました。

なお、直会は中止としました。

また、ご参加できなかった方々からも志納金を賜り心より御礼申し上げます。

担当　加賀本・熊谷



サンジーヴァ・ジャイナ領事と献花後の顕彰碑前にて

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

陸上自衛隊中部方面隊創隊６０周年記念行事

１０月４日（日）１０：３０から伊丹駐屯地に於いて、中部方面隊創隊６０周年記念行事が実施されましたが、武漢ウィールス禍のため招待者のみの参加で記念式典のみの実施となりました。

精鋭たちは武漢ウィールス対策装備で勇壮な観閲行進を見せてくれました。

武漢ウィールス対策完全装備の精鋭達

本会から、加賀本、熊谷事務局長、小山みどり賛助会員が参加しました。

担当　加賀本

第２６回全国戦没學徒追悼祭

１０月２１日（水）１１時から淡路島戦歿學徒記念「若人の広場」に於いて、第２６回全国戦没學徒追悼祭が催行されました。

本会から守屋　啓氏が参加し、下記の感想を寄稿して呉れました。

記

２１日、私と赤塚（京都隊友会副会長）は、早朝の０５：００高の原駅（奈良市）に集合、その後近鉄.阪神電車を利用して、集合場所の神戸湊川神社に行きました。

神社を参拝した後、０８：３０迎えの貸切バスに乗車、例年と違い１両から２両に増便されており、好天にも恵まれ、ゆったりと瀬戸内の景色を楽しむことが出来ました。

南淡路山頂「若人の丘」に到着しましたら、例年の通り多くの人が集合しておりました、

午前中は神式慰霊祭、直会は弁当で、山頂仮設テントにて於いて景色を楽しみながら昼食となりました。午後から慰霊碑前にて兵庫県主催の献花斎並びに、中部方面音楽隊の慰霊演奏が有りました。歌姫も心を込めて歌っていました。

御遺族関係者皆さん満たされておられました。

山頂を行ったり来たり、高齢者には、だいぶくたびれただろう慰霊祭でしたが、皆さん満足してお帰りになられました。また、昨年会場上空を何羽ものトンビが舞っておりましたが、今年は帰り際に一羽がサヨナラの挨拶をしにやって来てくれました。（守屋）

【なお、投稿者の守屋啓氏（防大１８期：６８歳）は、１１月２２日くも膜下出血のため急逝されました。心よりご冥福をお祈りいたします。】

担当　加賀本

紹介案内

中部方面音楽隊：コロナに負けるな！第６弾リリース

中部方面音楽隊が、コロナ（武漢ウィールス）に

負けるな！第６弾として「長崎の鐘（鶫真衣)」をYouTubeにリリースしました。
第１弾～5弾も併せてご視聴､お楽しみください。
担当　加賀本

和歌山偕行会便り

奥野和歌山偕行会会長所感
１０月１４日（水)「滑稽だけれども、笑えぬ話！」です。
トランプとプーチンの間で、核軍縮の合意をみた様です。
これは、ロシアが望んだことで、今迄、「中国も含まなければ意味がない」と米国が拒否して延び延びになっていました。
ロシアは、原油安で国家財政が逼迫しており、あり余る核の維持管理に経費が嵩みすぎるからです。
核兵器の特質は､オールorナスイングであり、保有量は通常兵器の様に多く持てば良いと云うものでなく、将に滑稽な話です。
成田闘争で、空港建設に反対した輩が、その空港を利用すると云うのも滑稽です。
最近では、政府の方針に反対する日本学術会員が、国家公務員になりたがるのも可笑しな話です。
知的財産権を蔑ろにし、他国の領土・領海を犯し､「私のものは私のもの、貴方のものも私のもの」を地で行く中国共産党も世界規模で滑稽です。
更に、極めつけは、領海侵犯され、かつ、反日教育までしており、儲けたお金を日本へ持ち帰れないC国に擦り寄る政治家や財界人です。何れその付けは、我が国に跳ね返ってきます。トヨタやソフトバンクをはじめ多くの中国進出企業にとっては会社が潰れるだけのことですが、その煽りを食って失業したり、経済不況を招き困窮するであろう日本国民にとって、笑い話では済まされないことです。
（奥野）

編集後記

いよいよ冬を迎えます。武漢ウィールス禍の折からご高齢者の多い当会の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。
本年のご協力を感謝申し上げますと共に、御家族揃って素晴らしい新年をお迎え下さい。
来年もご協力の程よろしくお願いたします。
今回も余白余談と「暖かみ味を感じる日本の冬景色」数葉を載せてみました。
担当　加賀本

余白余談（忘れ得ぬ人々⑤）

【刑事くんママ】

まだ独身だった頃、山陰方面の一人旅をしたことがあった。
天橋立・城崎から鳥取砂丘を越えて蒜山高原へと回った。
山陰本線を倉吉で乗り換えて、今は廃線になってしまったが、関金温泉への支線に乗った。
木製の座席が固い古い客車の一つに乗り込んだ。
あたりは既に薄暗くなっており、乗っている人もまばらであった。客車内の薄ぼんやりとした灯りが一人旅の侘しさをいや増していた。
するとどこからともなく小さな歌声が聞こえてきた。
耳を澄ますと聞いた事のあるメロディー、「♫～～コンクリートジャングル～～♫～～　刑事ィーくんー♫～～」　何回となく繰り返している。
どうも若い女性の声の様だ。そうだ！「刑事くん」（当時テレビで放映されていた桜木健一主演の連続テレビドラマ）の主題歌だ。私も時々見ていた。
どんな人だろうと見回すと、若い母親が赤ん坊をあやしながら子守唄代わりに口ずさんでいる姿が目に入った。
薄暗い客車のその一角だけが何かほのぼのとした雰囲気を漂わせていた。
私も一人旅の侘しさも忘れて何故かホッとした。

桜木健一のファンなのだろうか？
それとも警察官の奥さんなのだろうか？
薄明りの中、赤ん坊をあやしながら初々しい仕草で口ずさんでいる「刑事くんママ」の姿に見入りながら思った。
近い将来私の妻になる女性も自衛官の妻として子供をあやしながら　♫～～この国は　ふるさとの国ぞ～～♫～～この国は～～♫～～　と歌うのかなと・・・・。　（加賀本）

（注）「この国は」は、自衛隊創隊１０周年記念時に選定された愛唱歌で、古関裕而氏作曲の素晴らしい曲です。島倉千代子が歌いました。
YouTube で「この国は」を検索の上ご視聴下さい。
自衛隊の各音楽隊が様々な趣向で素晴らしい演奏を披露して呉れています。

ほのぼの灯りの白川郷

慕情募る小樽運河

地獄谷野猿公苑「いい湯だな！」

小雪舞う銀山温泉

近畿偕行会
会 長　加賀本昭雄

編集責任者　熊谷　勉
〒651-1513 神戸市鹿の子台北町 3-1-4-201
Tel & Fax:078-952-3063

編集委員　加賀本　昭雄
〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘 2-97
Tel:072-785-8954